

「主の食卓で育つ」

ルカの福音書22章14-20節

1

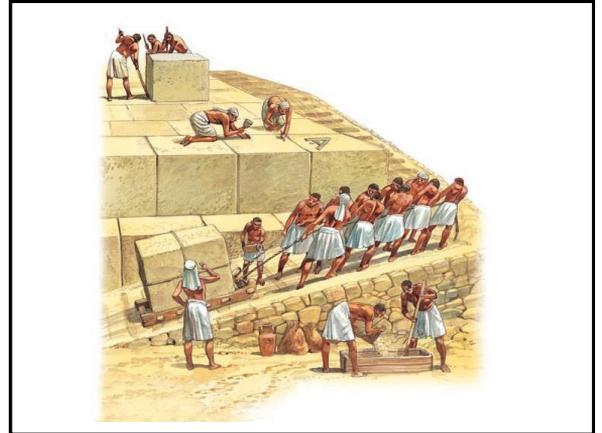
アブラハムへの約束

- 「さあ、天を見上げなさい。星を数えられるなら数えなさい。」さらに言われた。「あなたの子孫は、このようになる。」アブラムは【主】を信じた。それで、それが彼の義と認められた。 創世15:15-16
- 主はアブラムに言われた。「あなたは、このことをよく知っておきなさい。あなたの子孫は、自分たちのものでない地で寄留者となり、四百年の間、奴隷となって苦しめられる。しかし、彼らが奴隷として仕えるその国を、わたしはさばく。その後、彼らは多くの財産とともに、そこから出て来る。 創世15:13-14 (出12:37)

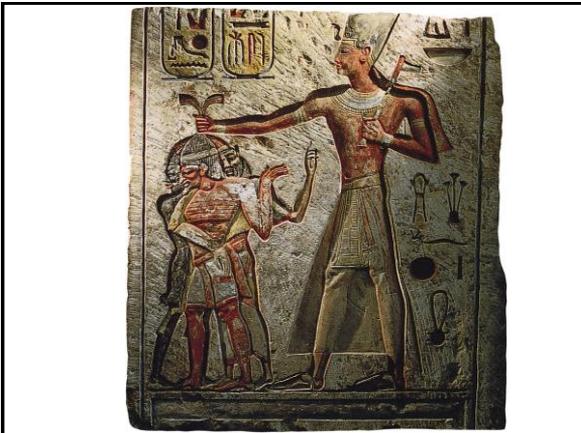
2



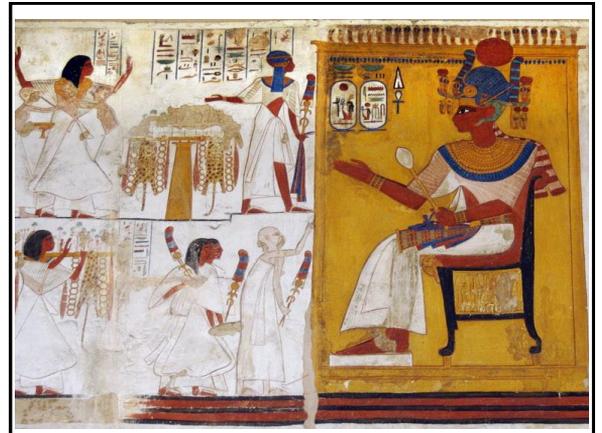
3



4



5



6



7

指導者たちの準備

- 「祭司長、律法学者たちは、イエスを殺すための良い方法を探していた。」ルカ22:2
- ところで、十二人の一人で、イスカリオテと呼ばれるユダに、サタンが入った。ルカ22:3
- 「神はいらない」「神入らない」「悪魔入る」
- 「神入る」「悪魔入らない」
- クリスマン生活の2つのゆるし、神の赦しと私たちの許し(許可)。
- 神の国(支配)の中の生活=天国生き(生活)

8

悪魔との戦い

- だれでも誘惑されているとき、神に誘惑されていると言っはけません。神は悪に誘惑されることのない方であり、ご自分でだれかを誘惑することはありません。人が誘惑にあうのは、それぞれ自分の欲に引かれ、誘われるからです。そして、欲がはらんで罪を生み、罪が熟して死を生みます。私の愛する兄弟たち、思い違いをはいけません。ヤコブ1:13-16
- それで、こう言われています。「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与える。」ですから、神に従い、悪魔に対抗しなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。ヤコブ4:6-8

9

過ぎ越しは十字架の影！？

- 律法には来たるべき良きものの影はあっても、その実物はありません。ですから律法は、年ごとに絶えず献げられる同じいけにえによって神に近づく人々を、完全にすることができません。ヘブル10:1
- キリストは、罪のために一つのいけにえを献げた後、永遠に神の右の座に着き、あとは、敵がご自分の足台とされるのを待っておられます。なぜなら、キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって永遠に完成されたからです。ヘブル10:12-14
- こういわけで、兄弟たち、私たちはイエスの血によって大胆に聖所に入ることができます。イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのために、この新しい生ける道を開いてくださいました。ヘブル10:19-20
- ですから私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、折にかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。ヘブル4:16

10

太陽の影絵



11

その時刻が来て、イエスは席に着かれ、使徒たちも一緒に座った。イエスは彼らに言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたと一緒にこの過越の食事をすることを、切に願っていました。あなたがたに言います。過越が神の国において成就するまで、わたしが過越の食事をすることは、決してありません。」そしてイエスは杯を取り、感謝の祈りをささげてから言われた。「これを取り、互いの間で分けて飲みなさい。あなたがたに言います。今から神の国が来る時まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは、決してありません。」それからパンを取り、感謝の祈りをささげた後これを裂き、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による、新しい契約です。」

ルカ22:14-20

12

主の愛と勝利宣言

- イエスは彼らに言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたと一緒にこの過越の食事をすることを、切に願っていました。」ルカ22:15
- あなたがたに言います。過越が神の国において成就するまで、わたしが過越の食事をすることは、決してありません。」ルカ22:16

13

主の晩餐の意味

あなたがたはこのことを、あなたとあなたの子孫のための掟として永遠に守りなさい。あなたがたは、【主】が約束どおりに与えてくださる地に入るとき、この儀式を守らなければならない。あなたがたの子どもたちが『この儀式には、どういう意味があるのですか』と尋ねるとき、あなたがたはこう答えなさい。『それは【主】の過越のいけにえだ。主がエジプトを打たれたとき、主はエジプトにいたイスラエルの子らの家を過ぎ越して、私たちの家々を救ってくださったのだ。』
出12:24-27

14

主の晩餐の意味

- それからパンを取り、感謝の祈りをささげた後これを裂き、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」ルカ22:19
- わたしの肉はまことの食べ物、わたしの血はまことの飲み物なのです。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、わたしのうちにとどまり、わたしもその人のうちにとどまります。ヨハネ6:55-56
- あなたがたは、初めから聞いていることを自分のうちにとどまらせなさい。もし初めから聞いていることがとどまっているなら、あなたがたも御子と御父のうちにとどまります。これこそ、御子が私たちに約束してくださったもの、永遠のいのちです。ヨハネ2:24-25

15

主の晩餐の意味

- 食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による、新しい契約です。」ルカ22:20
- その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家とに、新しい契約を結ぶ。その契約は、わたしが彼らの先祖の手を握って、エジプトの国から連れ出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破ってしまった。—【主】の御告げ— 彼らの時代の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうだ。—【主】の御告げ— わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、彼らの心にこれを書きしるす。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。エレヤ31:31-33

16

主の晩餐の意味

- 心と心の契約
- 聖書の教える信仰は、口先だけの信仰ではなく、信頼であり、従順であり、**信行**、信じて行う信仰です。(親交)
- 私たちは**バプテスマ**で生まれ、**主の食卓で育ちます**。**バプテスマも主の晩餐も目に見える福音です**。バプテスマが示すように、私たちはキリストと一緒に死に、一緒に復活し、一緒に生きます。

17

主の晩餐の意味

- 「あなたがたは、主の晩餐に永遠の命があると思うので、聖さんを取っています。その主の晩餐がわたしについて証言しているのです。それなのに、あなたがたは、いのちを得るためにわたしのもとに来ようとはしません。」
ヨハネ6:39-40
- 主の晩餐は、主の食卓で**十字架と復活の勝利を祝う食事**です。**天における祝宴の予告編(味見)**、そして**主が求める親しい関係の確認**です。

18